

## 研究の成果と課題

### 1. 考察力を高めるための「ほんとかな？」場面の設定(理科)

「ほんとかな？」という活用場面を設定することで、追究により得られた知が強化、一般化、再構成されるということが、多くの学年の実践で明らかになった。そして、そのように知が再構成されることによって、自然事象をより論理的に説明できるようになる姿も見られた。

また、「ほんとかな？」思考の場面をくり返し位置付けていくことによって、追究によって得られた知を「もっと差を大きくすると・・・」や「ほかのものに当てはめてみてもそうなのか・・・」など活用しようとする姿勢が引き出されるということも分かった。また、そのような子どもは自ら考え始めるようになり、自力解決を楽しむようになってきていることも分かった。

しかし、一方で課題も見られる。教師がそのような場面を与えるだけでは、子どもたち自身の「ほんとかな？」の思考となりにくいこと。「ほんとかな？」思考の3つ目のタイプ「質の異なるものに当てはめること」は、子どもたちの発想からは引き出されにくいことなどである。今後は、どのような場面で、どのような「ほんとかな？」思考が引き出されるのかということや、子どもたち自身から「ほんとかな？」思考が生まれるようにする手立てを考えて取り組んでいく必要がある。

### 2. 気付きの質を高めるための「見つける・比べる・たとえる」学習活動(生活科)

「見つける・比べる・たとえる」学習活動をくり返すことによって「気付くこと」、「気付きの質を高めること」につながる姿が多く見られた。加えて、「見つける・比べる・たとえる」学習活動を支えるために重要なことにも気付くことができた。

まず、「見つける・比べる・たとえる」学習活動は強い思いや願いがなければ進まない。様々なやり方を試せる活動であることや体感できる活動であること、くり返し体験することが思いや願いを引き出すために重要であることが分かった。また、前の姿と今の姿を比べることや違いを認識することが願いや思いをより焦点化させ、追究意欲につながることも明らかになった。

また、「見つける・比べる・たとえる」学習活動を引き出すためには交流の場面が大きな働きをすることも改めて確かめることができた。実物をもとに交流すること、工夫できる要素をしぼること、意図的なグルーピングをすることなどを意識して交流することで「見つける・比べる・たとえる」学習活動が引き出され、気付きの質の高まりにつながっていくことが分かった。

扱う素材としては「空気」や「音」などの目に見えないものを扱うことによって、より見つめたり、感じとろうとする姿勢、たとえることによって相手に伝えようとする姿勢が引き出され、気付きの質の高まりにつながる様子が見られた。

### 3. 表現力の育成

#### (1) 話型指導

話型表の活用が、子どもたちと教師、両者の意識化につながった。その結果として、話し合いの中で、話型が生かされた表現が見られるようになってきている。同時に、「どうしてそう思うのですか？」など聞き手としての姿勢にも影響が見られることから、表現力の育成が思考力や、聞く力の育成にもつながることが明らかになった。さらに、2年間の積み重ねにより高学年においては、話型をもとに、自分の言葉で表現する姿も見られるようになってきている。

また、話型指導という表現力育成によって思考力の育成を目指して取り組んできたが、話型指導が子どもたちの「関わり合い」を引き出し、思考を深めるという側面に気付くこともできた。その、関わり合いを引き出すという観点でいえば、「実物を見せながら説明する」ことや、「図や表に表して説明する」など、言語表現以外の表現も重要であることが分かってきた。そこで今後は、話型指導の中に関わり合いを支える「言語表現以外の話型」も意識して取り組んでいきたい。

#### (2) ノート案

ノート案を作成することによって、子どもの立場で思考する手がかりとなった。また、考察の力、気付きの質の高まりなど、読み取りにくい力を評価する指標にもなり、この取り組みは有効であったといえる。

今年度から付加した「望ましきの注釈」は、ノートでの表現から子どもたちの思考を読み取る手がかりになることはもちろん、子どもたちの発言を即座に評価する指標としても役立てることができた。今後はその望ましきの注釈を分析、整理していくことで、子どもたちの発達に応じて、より系統的に活用することができるようになると考えられる。

また、生活科においては、ノートに表現すること以外にも様々な形での表現がある。それらの表現から子どもたちの思考をどのように読み取り、また、気付きの質を高めるためにどのように支援していくのかという、ねらいや手立てにあたるものを明確にして授業に臨むことが大切であることが分かってきた。